

テーマ名	新型コロナウイルス感染症対策について（経済対策）
現状・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 「新型コロナウイルス感染症に伴う事業者の影響調査結果（R3. 10 月末）」によると、前々年同月比の売上変化について、「41%以上減」と回答した事業者の割合は 24%と、9 月末の調査から 8 ポイント低下。 （宿泊業（9 月末 70%→10 月末 51%）、飲食業（52%→42%）など） 金融機関や商工指導団体との間で、事業者の融資返済の据置期間の延長や本業支援への対応の必要性を共有。 全国的に感染者数が大きく減少し、G o T o トラベルの再開なども見込まれる中で、旅行マインドの回復や県外からの誘客に向けた対応が必要。 利用する側と利用される側の双方が、安心して飲食ができる環境の構築と周知が必要。 コロナ禍で普及が進んだ E C サイトを活用した県産品の販路拡大の強化。 	
県の対策（方向性）	
（１） 事業者支援	
<ul style="list-style-type: none"> 地域企業経営支援金 1 店舗当たり 30 万円（8・9 月を含む場合は 40 万円）、1 事業者当たり 150 万円（同 200 万円）を限度に支給 新型コロナウイルス感染症対策資金 保証料の一部または全部を免除する対応を 9 月から実施 年末商工金融 110 番の前倒し実施 例年より 1 か月早い 11 月 1 日から開設 事業継続伴走型支援 商工指導団体の本業支援に向けた専門員の配置等の体制強化を支援 	
（２） 観光	
<ul style="list-style-type: none"> 「いわて旅応援プロジェクト」（宿泊割引・クーポン券配付） 10 月に事業費を拡充し、12 月末まで継続実施 観光バス等旅行商品造成支援 バス 1 台当たり 5 万円の支給等 いわてに泊まって巡って癒し旅キャンペーン 県内に宿泊や日帰り旅行をされた方に抽選で県産品のプレゼント 	

(3) 飲食

- ・ 「いわての食応援プロジェクト」

販売期間は12月15日まで延長済、利用期間についても延長する方向で国と調整中

- ・ 「いわて飲食店安心認証スタンプラリー」

認証店のスタンプ3つでオリジナル県産品ギフトを抽選で贈呈
実施期間：令和3年11月15日～令和4年2月14日

(4) 県産品の販路拡大

- ・ 「買うなら岩手のものバーチャル物産展」

更なる販売促進に向け11月以降、3弾に渡るキャンペーンを展開

- ・ 楽天市場での「いわてフェア」の開催

楽天市場に県内出店企業の商品の特設ページを開設して割引クーポンを発行

- ・ 県産品愛用月間における消費喚起

「買うなら岩手のもの運動」に参画するスーパーや百貨店、道の駅、商店等の協力のもと、12月の県産品愛用月間に合わせた消費喚起を実施

- ・ いわて銀河プラザにおける大型ビジョンの設置

アンテナショップのショウウィンドウに大型ビジョン（幅5m×高さ2.5m）を設置し、県内各地からのオンライン配信による各種プロモーション等に活用。

第1弾として「三陸・宮古市まるごと観光物産展」を10月15～24日に実施



〔大型ビジョンの様子〕